

顕現後第五主日（聖書協会共同訳）

主よ、あなたに呼び求める民を慈しみ、その祈りをお受けください。どうか、行うべきことを悟る知恵と、それを忠実に成し遂げる恵みと力をお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

旧約聖書 列王記下 4章《8-17》、18-21、《22-31》、32-37節

《 4:8 ある日、エリシャがシュネムを通りかかると、そこに一人の裕福な女がいて、食事をするようにと引き止めた。それ以来、エリシャはそこを通る度に、食事をするため立ち寄りようになった。9 彼女は夫に言った。「聞いてください。いつも私たちのところを通りかかるあの方は、聖なる神の人なのです。10 あの方のために、家の階上に壁で囲った小さな部屋を造り、そこに寝台と食卓と椅子と燭台を置きましょう。お出でのときには、そこに立ち寄っていただけます。」

11 ある日、エリシャはそこに来て、家の階上にある部屋に立ち寄り、休んだ。12 それから従者ゲハジに、「あのシュネムの女を呼びなさい」と言った。ゲハジが彼女を呼ぶと、彼女はその前に立った。13 エリシャはゲハジに言った。「彼女に伝えなさい。『あなたは何から何まで、このように気遣ってくれた。あなたのために何をしてあげられるだろうか。王か、将軍に何か話してほしいことがあるか。』」すると、彼女は「私は身内に囲まれて何不自由なく暮らしています」と答えた。14 エリシャが、「それでは、彼女のために何をしてあげたらいいだろうか」と言うと、ゲハジは、「実は、彼女には子どもがなく、夫は年を取っています」と答えた。15 エリシャが、「彼女を呼びなさい」と言うと、呼ばれた彼女は入り口に現れた。16 エリシャが、「来年の今頃、あなたは男の子を抱いているであろう」と言うと、彼女は、「いいえ、ご主人様、神の人。仕え女を欺かないでください」と答えた。17 しかし、この女は身ごもり、エリシャが告げたとおり翌年の同じ頃、男の子を産んだ。》

18 男の子は成長し、ある日、父親や刈り入れをする人のもとへ出かけた。19 ところが、その時、父親に、「頭が、頭が」と叫んだので、父親は若者に、「この子を母親のところへ抱いて行け」と言った。20 若者はその子を抱いて、母親のところに連れて行った。その子は昼まで母親の膝で休んでいたが、死んでしまった。21 彼女は上って行って、神の人の寝台にその子を横たえ、戸を閉めて出て来た。《 22 そして夫を呼んで言った。「どうか私のために、若者一人と雌ろば一頭を出してください。神の人のところまで急いで行って、すぐ戻って来ますから。」23 夫は、「どうして、今日その人のところに行くのか。新月祭でも安息日でもないのに」と言ったが、「ご心配なく」と彼女は答え、24 雌ろばに鞍を置き、若者に言った。「手綱を引いて進んで行きなさい。私が止めないかぎり、手綱を緩めてはなりません。」25 こうして彼女は、カルメル山にいる神の人のもとにやって来た。神の人は

遠くから彼女を見ると、従者ゲハジに言った。「見なさい。あのシュネムの女だ。26 さあ今すぐ、走って行って彼女を迎え、『変わりありませんか、あなたの夫は変わりありませんか、子どもは変わりありませんか』と尋ねなさい。」彼女は、「変わりございません」と答えたが、27 山にいる神の人のもとに来ると、その足にすがりついた。ゲハジは引き離そうと近寄ったが、神の人は言った。「そのままにしておきなさい。彼女は苦しい思いをしているのだ。主はそのことを私に隠し、知らされなかった。」28 彼女は言った。「私はご主人様に子どもを願ったのでしょうか。欺かないでくださいと、申し上げたではありませんか。」

29 エリシャはゲハジに言った。「腰に帯を締め、私の杖を手を持って行きなさい。誰かに会っても挨拶してはならない。誰かが挨拶しても答えてはならない。そして、私の杖を子どもの顔の上に置きなさい。」30 ところが、子どもの母親が、「主は生きておられ、あなたご自身も生きておられます。私はあなたを離れません」と言ったので、エリシャは立ち上がり、彼女の後に付いて行った。31 ゲハジは彼らより先に行き、杖を子どもの顔の上に置いたが、声もなく反応もなかった。そこでゲハジは引き返し、エリシャと会って、「子どもは目を覚ましませんでした」と報告した。》32 エリシャが家に着いてみると、子どもは死んで、寝台の上に横たわっていた。33 彼は中に入って戸を閉め、二人だけになって主に祈った。34 そして寝台に上がって子どもの上に身を伏せ、自分の口をその口に、目をその目に、手をその手に重ねてかがみ込むと、子どもの体は暖かくなった。35 それから彼はまた起き上がって、家の中をあちこち歩き回り、再び寝台に上ってかがみ込んだ。すると、子どもは七回くしゃみをして、目を開いた。36 エリシャはゲハジを呼び、「あのシュネムの女を呼びなさい」と言った。ゲハジが呼ぶと、彼女がやって来たので、エリシャは、「子どもを抱きなさい」と言った。37 彼女は来て、エリシャの足元に身をかがめ、地にひれ伏し、子どもを抱いて出て行った。

詩 編 第 1 4 2 編

- 1 声を限りに主を呼び求め // 声を限りに主に祈る
- 2 み前に嘆きを訴え // み前に悩みを打ち明ける
- 3 弱り果てたときも神はわたしの歩みを守ってくださる // わたしが歩む道にはわなが掛けられている
- 4 右に目を注いで見ても、わたしを助ける者はいない // わたしには逃げる所もなく、命を救う者もない
- 5 神よ、あなたに向かってわたしは叫ぶ // あなたはわたしの寄りどころ、わたしの命のすべて」
- 6 わたしの叫びに心を留めてください。わたしは打ちひしがれている // 虐げる者から救ってください。彼らはわたしよりはるかに強い

7 わたしを獄屋から助け出してください。み名に感謝するために // あなたがわたしを恵まれるから、正しい人は周りに集まる

使徒書 コリントの信徒への手紙一 9章16-23節

9:16 もっとも、私が福音を告げ知らせても、それは私の誇りにはなりません。そうせずにはいられないことだからです。福音を告げ知らせないなら、私には災いです。17 自分からそうしているなら、報酬を受けるでしょう。しかし、強いられてするなら、それは、委ねられた務めなのです。18 では、私の報酬とは何でしょうか。それは、福音を告げ知らせるときに無償でそれを提供し、宣教者としての私の権利を用いないということです。

19 私は誰に対しても自由な者ですが、すべての人の奴隷となりました。より多くの人を得るためです。20 ユダヤ人には、ユダヤ人のようになりました。ユダヤ人を得るためです。律法の下にある人には、私自身はそうではありませんが、律法の下にある人のようになりました。律法の下にある人を得るためです。21 私は神の律法を持たないのではなく、キリストの律法の内にあるのですが、律法を持たない人には、律法を持たない人のようになりました。律法を持たない人を得るためです。22 弱い人には、弱い人になりました。弱い人を得るためです。すべての人に、すべてのものとなりました。ともかく、何人かでも救うためです。23 福音のために、私はすべてのことをしています。福音に共にあずかる者となるためです。

福音書 マルコによる福音書 1章29-39節

1:29 一行は会堂を出るとすぐ、シモンとアンデレの家に行った。ヤコブとヨハネも一緒であった。30 シモンのしゅうとめが熱を出して寝ていたので、人々は早速、彼女のことをイエスに話した。31 イエスがそばに行き、手を取って起こされると、熱は引き、彼女は一同に仕えた。32 夕方になって日が沈むと、人々は病人や悪霊に取りつかれた者を皆、御もとに連れて来た。33 町中の人々が戸口に集まった。34 イエスは、いろいろな病気にかかっている大勢の人たちを癒やし、多くの悪霊を追い出して、悪霊にものを言うことをお許しにならなかった。悪霊がイエスを知っていたからである。

35 朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。36 シモンとその仲間がイエスの後を追い、37 見つけると、「みんなが捜しています」と言った。38 イエスは言われた。「近くのほかの町や村へ行こう。そこでも、私は宣教する。私はそのために出て来たのである。」39 そして、ガリラヤ中の会堂に行き、宣教し、悪霊を追い出された。